

事後評価アンケート結果

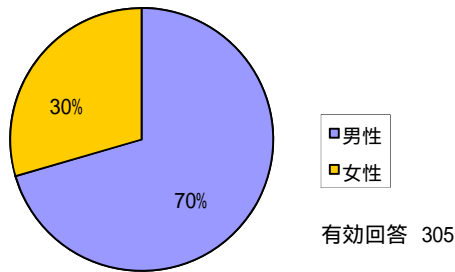
整理番号	H22 - 1
------	---------

事業名	田園空間整備事業	箇所名等	島守盆地
-----	----------	------	------

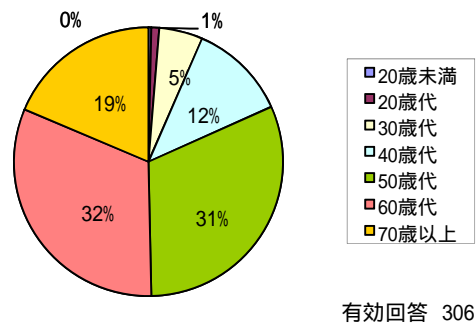
アンケート対象	対象範囲は、計画地域が旧南郷村であることから八戸市南郷区とし、一般住民よりアンケートを行った。		
配布方法	対象者1,000世帯を八戸市住民基本台帳から無作為に抽出し郵送で行った。	(配布部数)	1,000 部
回収方法	郵送(受取人払)により回収した。	(回収部数)	306 部
回収率	30.6%		
アンケート結果			

1. 回答者の属性

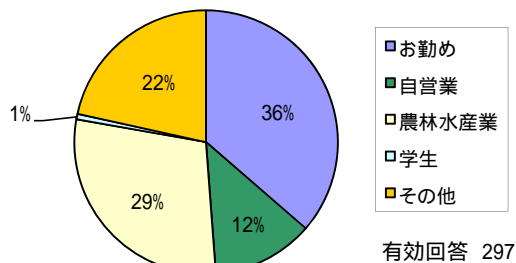
問1【性別】



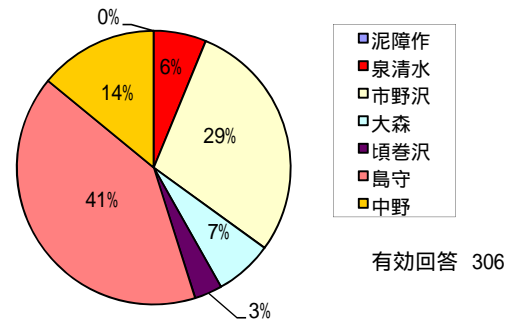
問2【年齢層】



問3【職業】

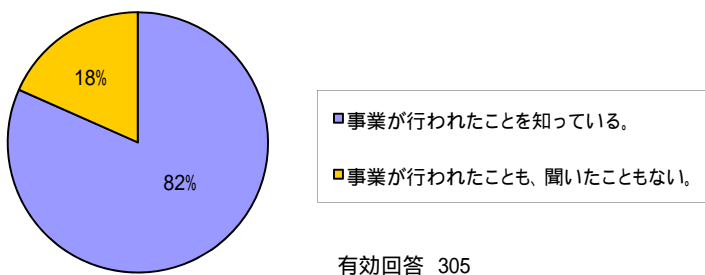


問4【お住まい】



2. アンケートの回答結果

問5【認知度】

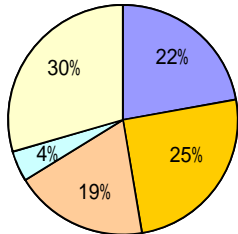


事後評価アンケート結果

整理番号	H22 - 1
事業名	田園空間整備事業
箇所名等	島守盆地

アンケート結果

問6【必要度】

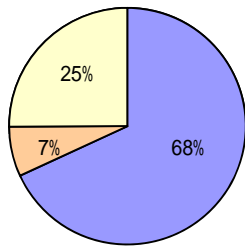


- 必要であった。
- おおむね必要であった。
- あまり必要ではなかった。
- 必要ではなかった。
- どちらとも言えない又はわからない。

- 【必要(おおむね必要)であった理由】**
- ・地域の活性化のためには必要である。 … 4件
 - ・都市との交流には必要である。 … 3件
 - ・自然や伝統文化を後世に引継ぐには必要である。 … 8件
- 【必要(あまり必要)でなかった理由】**
- ・施設が有効に活用されていない。 … 4件
 - ・事業費がかかりすぎている。 … 4件

有効回答 306

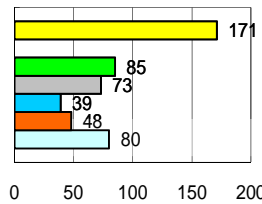
問7【事業効果】



有効回答 295

- 効果はあった
- 効果はなかった
- どちらとも言えない又はわからない

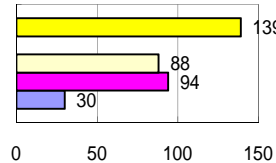
「効果があった」と回答した人のうち、その具体的な理由(複数回答)



- 下記の項目で効果があったと1つ以上回答した人
- 郷土の良さを再確認できた
- 郷土に対する知識が深まった
- 郷土に対する誇りが生まれた

横軸は回答数(人)

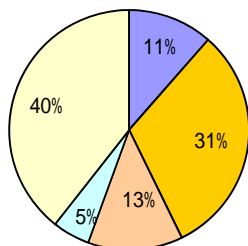
「効果があった」と回答した人のうち、その具体的な理由(複数回答)



- 下記の項目で効果があったと1つ以上回答した人
- 地域の伝統的な景観が保全復元された
- 地域の伝統文化の保存が図れた
- 生態系への保存が図れた

横軸は回答数(人)

問8【満足度】



- 満足している
- おおむね満足している
- あまり満足していない
- 満足していない
- どちらとも言えない又はわからない

有効回答 297

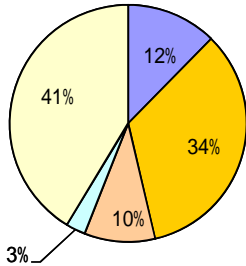
- 【満足(おおむね満足)している理由】**
- ・島守のすばらしさを再認識することができた。 … 1件
 - ・憩いの場となった。 … 1件
 - ・村外の人たちが訪れるようになった。 … 1件
- 【満足(あまり満足)していない理由】**
- ・施設が有効に活用されていない。 … 5件
 - ・事業の認知度が低い。 … 2件
 - ・利用する機会がない。 … 2件
 - ・魅力を感じない。 … 2件

事後評価アンケート結果

整理番号	H22 - 1
事業名	田園空間整備事業
箇所名等	島守盆地

アンケート結果

問9【管理状況】



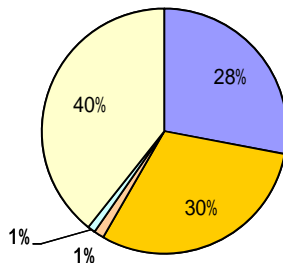
- 適切
- おおむね適切
- あまり適切ではない
- 適切でない
- どちらとも言えない又はわからない

【適切(おおむね適切)である理由】
 ・ 清掃等が適切に行われている。 … 4件

【適切(あまり適切)でない理由】
 ・ 公園等の草刈りが適切に行われていない。 … 7件

有効回答 300

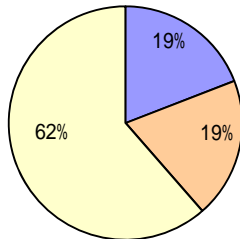
問10【環境変化】



- 良くなった
- やや良くなった
- やや悪くなった
- 悪くなった
- どちらとも言えない又はわからない

有効回答 300

問11【改善点】



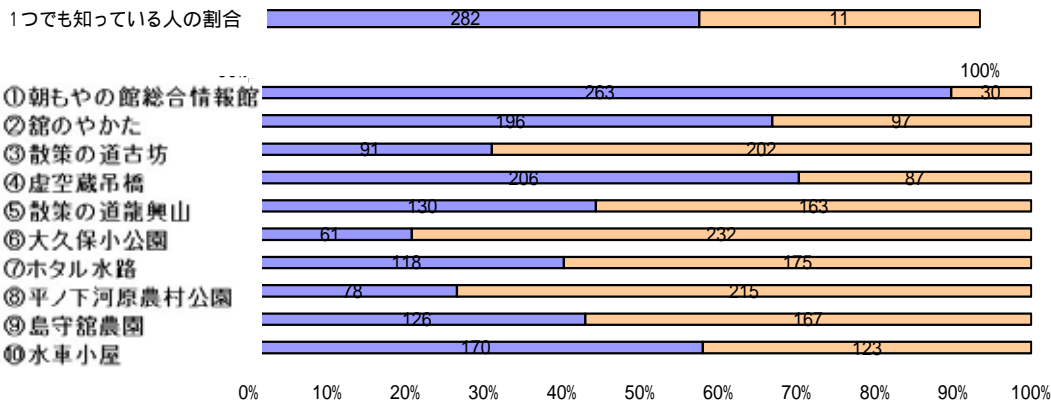
- 改善点がある
- 改善点はない
- わからない

【改善点がある理由】
 ・ 利用が不十分な施設は、利用方法を見直す … 10件
 ことが必要。
 ・ イベントが少ないなど運営方法に改善が必要。 … 7件
 ・ 島守地区以外にPRが必要。 … 5件

有効回答 293

問12【施設の認知度】

有効回答 293



数字は回答数

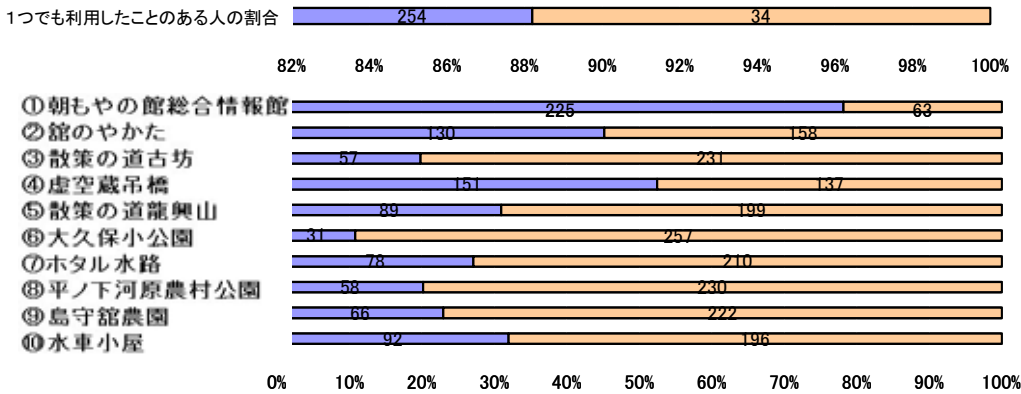
事後評価アンケート結果

整理番号	H22 - 1
------	---------

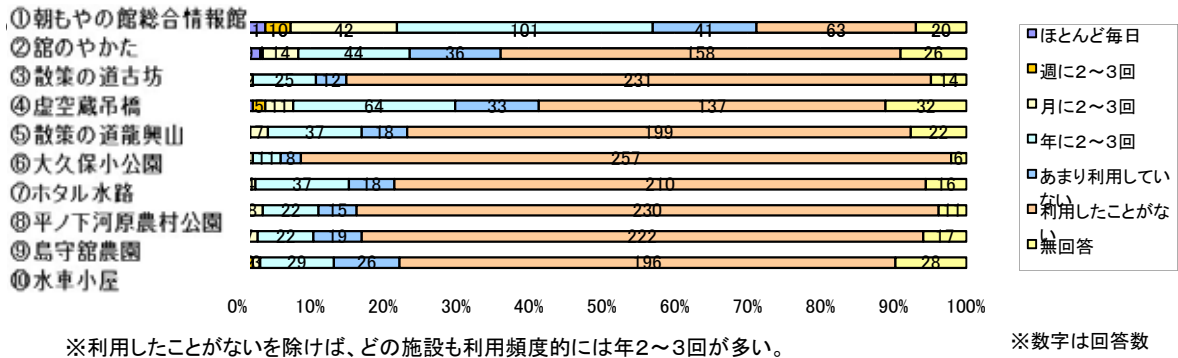
事業名	田園空間整備事業	箇所名等	島守盆地
-----	----------	------	------

アンケート結果

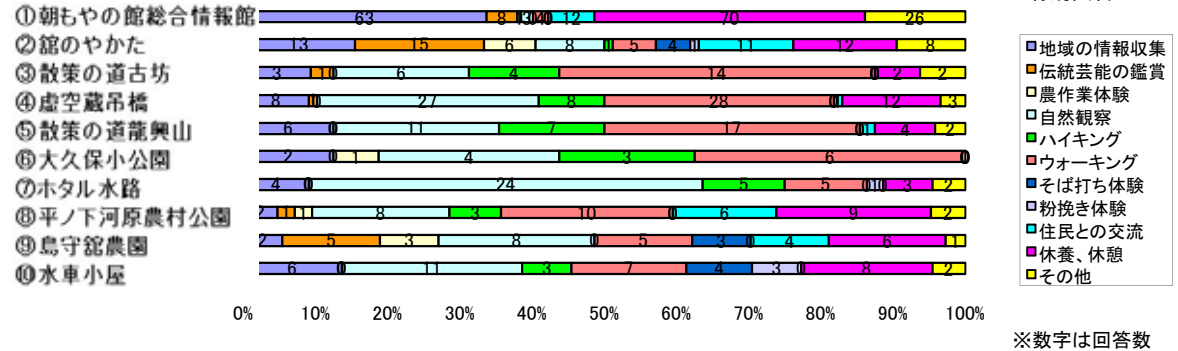
問13【施設の利用度】



問14【施設別利用頻度】



問15【施設別利用目的】



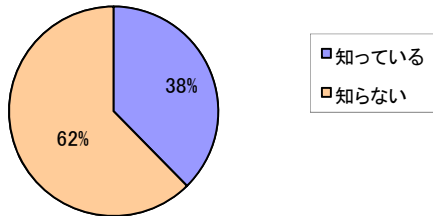
事後評価アンケート結果

整理番号	H22 - 1
------	---------

事業名	田園空間整備事業	箇所名等	島守盆地
-----	----------	------	------

アンケート結果

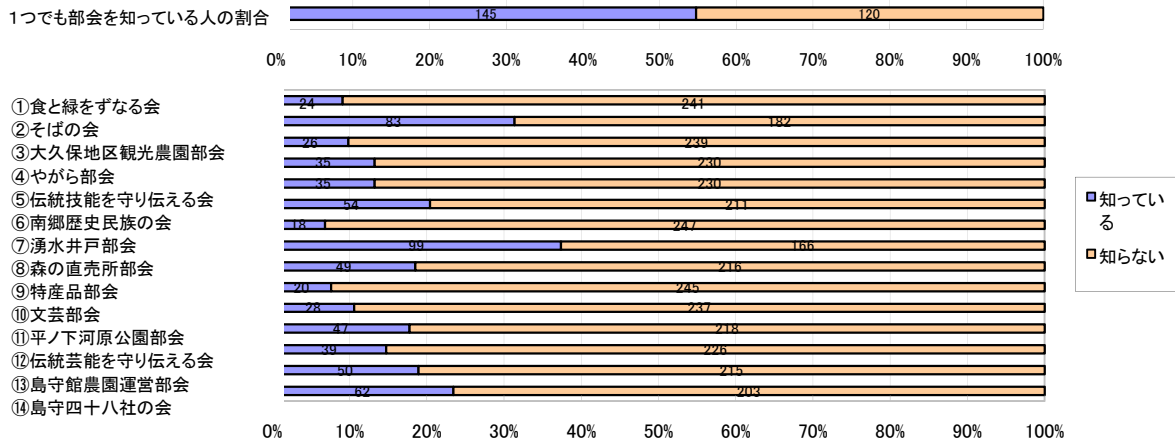
問16【運営協議会の認知度】有効回答 271



問17【部会の認知度】

有効回答 265

1つでも部会を知っている人の割合

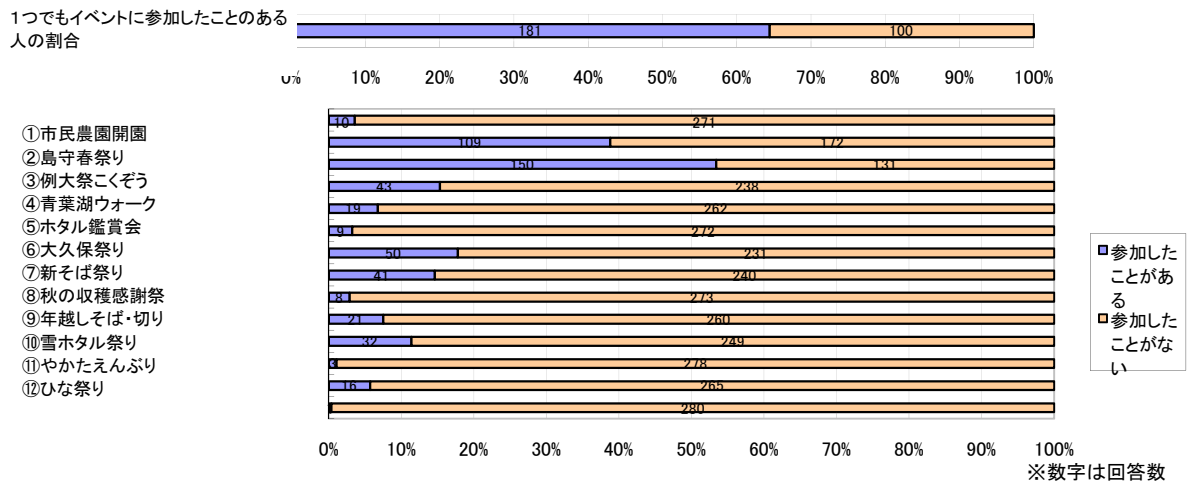


※数字は回答数

問18【イベント】

有効回答 284

1つでもイベントに参加したことのある人の割合



※数字は回答数

事後評価アンケート結果

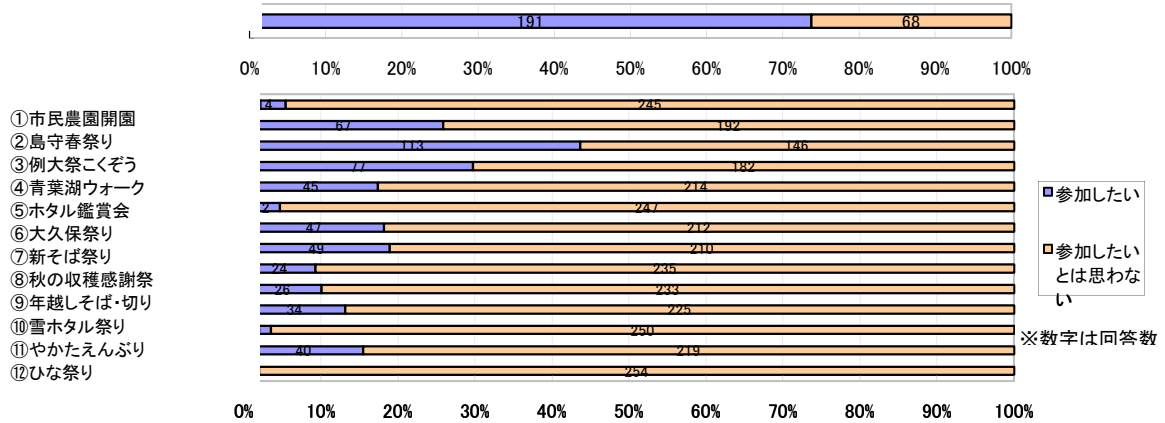
整理番号	H22 - 1
------	---------

事業名	田園空間整備事業	箇所名等	島守盆地
-----	----------	------	------

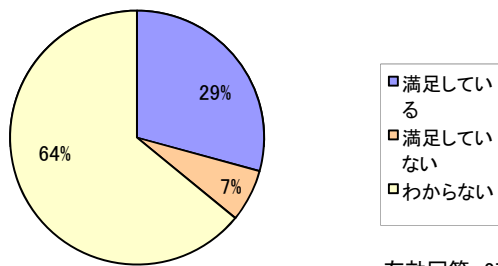
アンケート結果

問19【イベントの参加意思】

有効回答 260



問20【イベントに対する評価】



有効回答 270

問21【島守田園空間博物館運営協議会や各部会、イベント活動の内容について意見・要望】

- ・ イベント開催の広報が不足している。PRにもっと努めてほしい。 ... 20件
- ・ イベントが少なすぎる。各部会の活動を活発に行ってほしい。 ... 5件

問22【田園空間整備事業「島守盆地地区」に対して、その他の意見・要望等】

- ・ 施設を有効に活用するための施策が必要に思う。都市住民との交流を増やすためのPR等を積極的にやってほしい。 ... 11件
- ・ 施設がうまく活用されていない。 ... 6件
- ・ 人を集められるイベントを考えてほしい。 ... 1件
- ・ 都会の中、高校生、一般市民を受け入れるグリーンツーリズムに、もっと力を入れるべきである。 ... 1件

問23【公共事業についてご意見・ご要望等】

- ・ 不必要な事業は削減し、必要な事業はどんどん投資を図ってほしい。 ... 2件
- ・ 計画段階から住民へのアンケート調査等が必要である。 ... 3件
- ・ 無駄な事業が多すぎる。 ... 2件
- ・ 市中心街からのアクセス道路等、インフラ整備をもっと進めてほしい。 ... 1件
- ・ 公共事業は必要だが、あまりにも似たような施設が多過ぎる。 ... 1件
- ・ 公共事業を行う際に、有識者とか有力者の意見より、住民が本当に必要としているかを判断基準に計画してほしい。住民が余り利用しないものは整備しないでほしい。 ... 1件
- ・ 箱物等の維持管理費が、財政を圧迫している。公共事業は民のためではなく、業のためと聞いたことがあるが、真に民のための公共事業を行ってほしい。 ... 1件

〔施設位置図〕

島守盆地地区 田園空間整備事業



(別紙)

事後評価箇所状況写真

整理番号 H22 - 1

事業名	田園空間整備事業	箇所名等	島守盆地
-----	----------	------	------



総合情報館
展示室の様子



水車小屋



萱葺農家
伝統芸能「神楽」の様子



散策の道古坊
「青葉湖ウォーク」の開催

(別紙)

費用対効果分析説明資料

		整理番号	H22 - 1
事業名	田園空間整備事業	箇所名等	島守盆地

-

(本地区は、事業内容が農村生活環境整備に係る施設であり、事業実施要綱において費用対効果が不要とされていたため、算定を行っていない。)

様式2 (第3関係)

公共事業再評価調査

(1/2)

修正箇所

整理番号 H15-13

担当部課室名	農林水産部 農村整備課	電話番号	017-734-9555
		E-MAIL	NOSONSEIBIKA@ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	<input type="radio"/> 未着工 <input checked="" type="radio"/> 長期継続(5年) <input type="radio"/> 再評価後(年) <input type="radio"/> その他()
---------	--

1 事業概要

事業種別	農業農村整備事業	事業主体	<input checked="" type="radio"/> 県 <input type="radio"/> 市町村 <input type="radio"/> その他()					
事業名	県営田園空間整備事業	地区名等	島守盆地 市町村名 南郷村					
事業方法	<input checked="" type="radio"/> 国庫補助 <input type="radio"/> 県単独	財源・負担区分	<input checked="" type="radio"/> 国50% <input checked="" type="radio"/> 県25% <input checked="" type="radio"/> 市町村25% <input type="radio"/> その他 %					
採択年度	平成10年度(用地着手 12年度 / 工事着手 13年度)							
終了予定年度	平成17年度(平成年月計画変更(当初計画時平成14年度))							
事業目的	南郷村島守地区の恵まれた地域資源を生かし、地域全体を屋根のない博物館(田園空間博物館)にみたく、豊かな自然、美しい景観、伝統文化を保存・整備することにより、魅力ある田園空間を創造・保全し、農村の活性化と都市との交流を図るものである。							
主な内容	総合情報館A=499㎡ 葎草き農家復元A=230㎡ 集落緑化施設A=12,800㎡、遊歩道L=821m、集落道L=250m ホテル水路L=354m 集落農園整備A=11,641㎡ など							
事業費	○採択時総事業費 1,350 百万円 (単位:百万円)							
		~12年度	13年度	14年度	15年度	小計	16年度~	合計
	計画 (うち用地費) (13年3月変更)	110 (19)	200 (4)	400 (12)	250 (20)	① 960 ②(55)	390 (22)	1,350 (77)
	実績 (うち用地費)	110 (19)	200 (4)	400 (12)	250 (20)	③ 960 ④(55)	390 (22)	⑤ 1,350 ⑥(77)

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A)・B・C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
			71.1% [③/⑥]	100% [③/①]
			(71.4%) [④/⑥]	(100%) [④/②]
	主要工程毎割合 (事業費)	総合情報館、葎草農家の復元、集落緑化施設 (685百万円)	74.5%	100%
遊歩道、集落道 (424百万円)		89.4%	100%	
ホテル水路、集落農園 (341百万円)		42.5%	100%	
説明	地域住民の主体的な活動による「人づくり」、「組織づくり」を事業実施の基本に、平成11年2月の事業採択後、地方委員会(3回)やアンケート(1回)、ワークショップ(3回)等を通じて地域の合意形成に努めた。その結果、12年2月の地方委員会で計画の承認を得て、12年度用地買収、13年度工事着手し、現在、計画どおり進捗している。			
問題点・解決見込み	-			
事業効果発現状況	地域住民によるホテル部会や島守四十八社の会などの活動と相まって、ホテル水路や散策道などの整備により子供たちの総合的学習や生涯学習の場が提供され、地域の活性化が促進されている。			

(2) 社会経済情勢の変化

(A)・B・C

社会的評価	全国・本県における評価	【全国の評価】 農村の有する豊かな自然、美しい景観、伝統文化等を保全し、魅力ある田園空間づくりによる都市との共生を図ることが求められていることから、本事業による整備が必要となっている。	【県内の評価】 本県においては、豊かな自然や伝統、文化という農村ならではの景観・施設にスポットをあて住民が参加・主導しながら、都市住民にとっても「学ぶ」、「体験」、「交流」する場としての整備が必要となっていることから、本事業の活用が要求されている。
	当地区における評価	事業計画は、地域の人々がワークショップを開催し、地域資源の再評価などを行いながら策定したもので、伝統行事や水車小屋の復活等により地域活性化が促進されており、地域丸ごと博物館としての田園空間の整備が必要である。	
必要性	本地区には、伝統行事「えんぶり」、「神楽」などの農林業を土台とした地域文化が今も数多く残されている。また、夏の早朝の朝もやにけむる桃源郷のような神秘的な景観は、「青森県を代表する」ふるさと”そのものであり、この伝統と景観を次世代に継承していく必要がある。		(a) b
適時性	博物館は、農村の持つ豊かさに触れながら自然との調和の中で作物を育てる喜びを感じることのできる場であり、食農教育、総合学習の推進といった時代の要請に応えることに加えて、東北新幹線八戸駅開業により、都市からの観光客が増加しており、グリーン・ツーリズム等への参加の促進が期待される。		(a) b
地元の推進体制等	事業完了後は地域住民一人一人が、いわゆる博物館員として主体的に博物館を運営することとしており、住民等で組織された「島守田園空間博物館運営協議会」が、その下部組織として各施設の運営管理にあたる9部会を設立して活動するなど推進体制が整っている。また、日常の維持管理については各部会が行い、造成施設の補修等は南郷村が行うこととなっている。		(a) b
効率性	地域住民が様々な活動を通して、郷土の良さを再認識し、郷土に対する知識を深め誇りが生まれつつある。また、都市住民との交流とともに地域の物産を紹介することにより、地場産業の活性化に寄与するものである。さらに、博物館は、生涯社会参加や生きがいづくりなどの多様な学習の場としての期待が高まっており、幅広い年齢層の利用が考えられる。		

(3) 費用対効果分析の要因変化					A・B・C
区分	主な項目	計画時	再評価時	増減	
費用項目 (C)	(1)	百万円	百万円	0百万円	
	(2)	百万円	百万円	0百万円	
	(3)	百万円	百万円	0百万円	
	(4)	百万円	百万円	0百万円	
	(5)	百万円	百万円	0百万円	
	総費用	- 百万円	- 百万円	0百万円	
便益項目 (B)	(1)	百万円	百万円	0百万円	
	(2)	百万円	百万円	0百万円	
	(3)	百万円	百万円	0百万円	
	(4)	百万円	百万円	0百万円	
	(5)	百万円	百万円	0百万円	
	総便益	- 百万円	- 百万円	0百万円	
B/C					
【費用対効果分析手法】 (分析手法、根拠マニュアル等)					
【費用対効果分析における特記事項】 本事業は土地改良法によらない事業であることから、B/Cの算定を行っていない。					

(4) コスト縮減・代替案の検討状況		(A)・B・C
コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 本事業で整備する総合情報館と村の産地直売施設は合体施行し、電気設備・給排水設備を共有するなど、工事費及びランニングコストを縮減している。	a. b
代替案	【代替案の検討状況】 アンケートやワークショップ等を通じて地域住民の合意形成を図っているほか、「田園空間博物館整備地方委員会」の指導・助言を得て計画されており、妥当である。	a. b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点			(A)・B・C
住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 事業計画は、ワークショップ、アンケート調査及び学識経験者と地域住民で構成される「田園空間博物館整備地方委員会」で検討・策定されており、さらに実施に当たっては、博物館を管理運営する運営協議会や各部会と検討を重ねて決定したものである。	【住民ニーズ・意見】 地域住民から下記のニーズ等があり計画に反映されている。 ・地域活性化の核となる施設が欲しい。 ・新井田川と湧水が島守盆地では核となっており重要 ・子供、老人など多くの人が利用できる施設が必要 ・りんごなどを育てて収穫体験できる環境が必要	a. b
環境影響への配慮	【地域別環境配慮指針への対応】 (1) 地域区分 H5b (2) 対応状況 ●配慮している ○配慮していない 【特記事項】 集落水辺環境において、ホテルが生息可能な水路としているほか、切土部及び盛土部の法面を緑化し、自然環境に配慮している。	【開発事業等における環境配慮指針への対応】 ●配慮している ○配慮していない	a. b
地域の立地特性	過疎地域		

3 対応方針	
総合評価	●継続 ○計画変更 ○中止 ○休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	本事業は、農村の有する豊かな自然、伝統、文化等の多面的機能を再評価し、魅力ある田園空間づくりによる都市との交流の推進や農村の活性化を図るなど地域に果たす役割が大きいことから、平成17年度の完了を目指し継続して実施する。
備考	

4 公共事業再評価審議委員会意見	
委員会意見	●対応方針(案)どおり ○対応方針(案)を修正すべき
委員会評価	●継続 ○計画変更 ○中止 ○休止 (林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見	意見書のとおり
評価理由	